

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	成人看護学概論				
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	1年次	履修時期	9月～1月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	専任教員	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	成人各期の特徴と、成人保健の動向・健康に影響する諸因子を学び、健康の保持・増進に向けた看護の役割を理解する。				
学習目標	1. 成人看護の意義と役割を理解する。 2. 成人各期の特徴を、身体的・精神的・社会的側面と発達課題から総合的に理解する。 3. 健康に影響を及ぼす諸因子について理解する。 4. 成人保健の動向を理解する。 5. 成人各期における健康上の諸問題と、疾病予防、健康の保持・増進に向けた看護の役割を理解する。 6. 成人の特性や能力に応じた看護アプローチの基本を学ぶ。				
回	授業内容			授業方法	
1	I. 成人看護学の意義と役割 1. 成人看護学とは 2. 成人看護学の構成と位置づけ 3. 成人看護学の理念と目的 4. 成人看護学の対象 5. シラバスの説明			講義	
1 2 3	II. 成人期のある人の特徴 1. 対象の理解 1) ライフサイクルから見た成人期と成人期の区分 2) 生涯発達について 3) 発達段階と発達課題 4) 成人各期の発達段階の特徴と発達課題 (1) 青年期(大人になること) (2) 壮年期・中年期(大人であること) 2. 対象の生活 1) 生活を営むこと 2) 仕事を持ち、働くこと 3) ワークライフバランス			講義	
4	III. 成人の生活の特徴 1. 成人を取り巻く環境(人口・経済、環境問題) 2. 成人のライフスタイルの特徴 1) ライフスタイルや働き方の特徴と広がり ① 晩婚化・未婚化、少子化 ② 女性の就業 ③ 高齢者の就労 2) 日常の暮らしの特徴と多様性 ① 休養・睡眠 ⑤ 肥満とやせ ② 運動習慣 ⑥ 喫煙 ③ 食生活の特徴 ⑦ 飲酒 ④ 肥満とやせ ⑧ ソーシャルメディアと依存			講義	
5	IV. 健康指標に見る成人の特徴 1. 人口構成 2. 平均寿命と死亡の動向 3. 健康格差 3. 職業性疾病・業務上疾病 4. 受療状況 5. 生活習慣病 6. メンタルヘルスと自殺者数			講義	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	授業内容	授業方法
6	V. 成人の健康上の課題 1. 成人と死 2. ストレスと健康 1)健康バランスの構成要素と健康バランスに影響を及ぼす因子 2)ストレスとは ①セリエの生物学的ストレス ②ストレス因子に対する適応の過程	講義
7	VI. 成人の健康を保持・増進するための活動	講義 グループワーク 発表と意見交換
8	1. 成人にとっての健康の意義	
12	2. 生活と健康を守り育むシステム	
13	1)保健・医療・福祉にかかわる施策の概要	
14	2)家庭・地域社会における成人の健康生活を育む活動	
	3. 生活行動から見た健康生活の脅かし ～「健康日本21(第2次)」で示された、生活習慣や生活習慣病の10領域より～	
	VII. 成人看護に有用な概念・理論	講義
9	1. 学習者としての成人の特徴	
10	アンドロロジー(成人教育学)	
11	2. 成人看護で活用される概念・理論	
	1)ストレスコーピング理論	
	2)危機理論	
	3)エンパワーメント	
	4)自己効力理論	
15	試験	
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学①成人看護学総論 医学書院 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版	
参考文献	講義の際に紹介します	
成績評価の方法	筆記試験90点、レポート課題およびグループワークへの取り組み10点、合わせて100点とし、60点以上をもって単位習得とする。	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		成人看護学援助論 I (呼吸・循環、代謝調節機能障害をもつ人の看護)			
科目分類	専門分野 II	履修年次	1年次	履修時期	10月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	認定看護師 専任教員	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	呼吸、循環、体液調節機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 呼吸、循環、体液調節機能障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその看護が理解できる。 2. 呼吸、循環、体液調節機能障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
回	担当	授業内容			授業方法
1	臨床 看護師	I. 呼吸器系			講義 討議
2		1. 疾患の理解と各期における看護 急性期、回復期、慢性期、終末期			
3		2. 症状に対する看護 咳嗽・喀痰、血痰・喀血、胸痛、呼吸困難			
4		3. 検査を受ける患者の看護 内視鏡検査、肺組織の生検			
5		4. 治療・処置を受ける患者の看護 吸入療法、酸素療法、人工呼吸器、気管切開 胸腔ドレナージ、手術を受ける患者の看護			
6	専任 教員	5. 疾患をもつ患者の看護 肺がん			講義 討議
7		6. 疾患を持つ患者の看護 肺炎・気管支炎・胸膜炎、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息			
8		II. 循環器系			
9		●講義のガイダンス			
10		1. 循環機能障害をもつ患者の特徴と看護師の役割			
11		2. 循環機能障害をもつ患者における経過別看護の特徴			
12		3. 循環機能障害の観察とアセスメントの基本			
13		1) 循環機能障害のアセスメント			
14		2) 心身・日常生活への影響(急性期・慢性期)			
15		7～11回目までの共通授業内容			
16	★症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント				
17	★症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助				
18	★生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助				
19	★合併症の早期発見と早期対処				
20	★症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助				
21	★危機的状況や不安に対する心理的援助				
22	★手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、術後の合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助				
23	4. 病期や機能障害に応じた看護			講義 討議	
24	1) 心不全患者の看護 心不全のおさらい、急性増悪から回復期・慢性期における看護				
25	2) 虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)患者の看護(1) 虚血性心疾患の病態のおさらい、狭心症患者の看護				
26	2) 虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)患者の看護(2) 急性心筋梗塞の病態のおさらい、急性期・回復期の看護				
27	3) 弁膜症患者の看護 弁膜症について 基礎知識おさらい				
28	4) 手術を受ける患者の看護				
29					
30					
31					
32					

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
11		心臓血管外科手術、弁置換術、冠動脈バイパス術 5)不整脈患者の看護 心電図モニター、不整脈の原因と分類、不整脈の危険度の判断 ペースメーカーを装着した患者の看護 6)閉塞性動脈硬化症(動脈閉塞性疾患)患者の看護	講義 ペアワーク
12 13 14	皮膚 排泄 ケア 認定 看護	III. 腎・泌尿器系 1. 症状・障がいのアセスメント 体液量・電解質調整機能障害…脱水 蓄尿・排尿障害…尿失禁 2. 検査と看護 3. 治療・処置と看護 4. 病期や機能障害の応じた看護 急性腎不全、慢性腎不全・慢性腎臓病、腎移植 腎・膀胱の外科的治療の看護	講義 講義 講義
15		試験	
使用教材		単元Ⅰ呼吸器系:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 医学書院 単元Ⅱ循環器系:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 医学書院 単元Ⅲ腎・泌尿器系:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院	
参考文献		看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 他、適宜提示	
成績評価の方法		筆記試験、課題への取り組み、授業態度を含めて総合的に評価をする。	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		成人看護学援助論Ⅱ(消化・吸収、栄養・代謝、運動機能障害をもつ人の看護)			
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	1年次	履修時期	10月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	認定看護師 専任教員、看護師	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	消化・吸収、栄養・代謝、運動機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 消化・吸収、栄養・代謝、運動機能障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその看護が理解できる。 2. 消化・吸収、栄養・代謝、運動機能障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
回	担当	授業内容			授業方法
1 2 3 4 5 6	皮膚排泄 ケア 認定 看護	I. 消化器(食道・胃・大腸) 1. 食道疾患患者の看護 1) 食道がんの看護 2. 胃・十二指腸疾患患者の看護 1) 胃・十二指腸潰瘍患者 2) 胃がん患者 3. 炎症性疾患患者の看護 1) 潰瘍性大腸炎患者 2) クローン病患者 4. 大腸がん患者の看護 1) 結腸がん・直腸がん患者			講義 講義 講義 講義 講義 講義
7 8 9 10 11	専任 教員	II. 消化器(肝・胆・膵) I. 患者の特徴と看護の役割 II. 経過別看護の特徴 III. 疾患や機能障害に応じた看護 1. 肝炎 1) 肝炎ウイルスの型による特徴 2) 肝生検 3) インターフェロン療法 2. 胆石・胆嚢炎(1) 1) ERCP 2) PTCD 3. 膵炎 4. 肝硬変 1) 対症看護 ① 腹水 ② 吐血 ③ 黄疸 ④ 肝性脳症 2) 食道静脈瘤硬化療法 5. 肝・膵のがん患者の看護 ～術前・術後の看護～ 1) 肝動脈塞栓術 2) 肝切除術 3) 膵臓切除術			講義 講義 講義・TBL 講義・TBL 講義
12	臨床 看護 師	III. 運動器系 1. 運動機能障害のある患者の看護を学ぶにあたって 1) 運動器疾患医療・看護の目標 2) 患者の特徴と看護の役割 3) 援助のための主な知識と技術 2. 症状とその看護 神経麻痺、循環障害とフォルクマン拘縮、 出血、感染、深部静脈血栓症			講義

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
13		3. 検査・処置を受ける患者の看護 4) 脊髄造影、椎間板造影検査 1. 保存療法を受ける患者の看護 ギブス・副子固定、牽引法 2. 手術を受ける患者の看護 1) 手術前の看護 2) 手術後の看護(体験学習:間欠的空気圧迫法)	講義
14		3. 経過に応じた患者の看護～脊髄損傷患者の看護を通して 4. 疾患別看護 1) 四肢切断術を受ける患者の看護 術後管理 2) 椎間板ヘルニア患者の看護 安静療法、生活指導 3) 関節リウマチ患者の看護 人工関節置換術・ポジショニングの援助	講義 講義
15		試験	
使用教材		単元Ⅰ・Ⅱ 消化器系:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 単元Ⅲ 運動器系:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器 医学書院	
参考文献		看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 <Ⅱ. 消化器(肝胆脾)> ①病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病体関連図 第2版:医学書院 ②病気がみえる 消化器:メディックメディア ③なぜ?からわかる消化器外科のケアと術後72時間の観察 要点&焦点:メディカ出版 ④消化器外科ナースング2016春季増刊 新人のための消化器外科 術前術後ケア Q&A102:メディカ出版 ④消化器外科ナースング2016秋季増刊 外科ナース・研修医のための消化器の手術&臓器 のはたらき:メディカ出版 ⑤処置&治療別に早わかり! どう見る? どう動く? 消化器外科ベッドサイド処置&ケア:メ ディカ出版 ⑥内視鏡検査・治療・ケアがよくわかる本:照林社 ⑦新ナースングレクチャー 消化器系の症状・疾患の理解と看護:中央法規 ⑧プチナースBOOKS 症状別 看護過程“アセスメント・看護計画がわかる!”:照林社	
成績評価の方法		筆記試験、課題の取り組み、授業態度を含めて総合的に評価をする。	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		成人看護学援助論Ⅲ(内部環境調節、生体防御、性・生殖機能障害をもつ人の看護)			
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	2年次	履修時期	4月～8月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	認定看護師 看護師	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	内部環境調節、生体防御、性・生殖機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 内部環境調整、生体防御機能、性・生殖機能(女性)障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその看護が理解できる。 2. 内部環境調整、生体防御機能、性・生殖機能(女性)障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
回	担当	授業内容			授業方法
1	糖尿病看護認定看護師	I. 内分泌・代謝系 1. 医療の動向と看護 2. 内分泌疾患・代謝疾患患者の特徴と看護の役割 3. 症状・障害のアセスメントと看護 代謝機能障害、血糖調節機能障害、甲状腺機能障害 副腎機能障害、下垂体機能障害、高血糖、低血糖、肥満 体重減少、口渇、多飲、多尿、動悸 4. 糖尿病について 1) 糖尿病の概要 2) 糖尿病の分類 3) 糖尿病の診断 4) 糖尿病の慢性合併症(糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害、糖尿病足病変、大血管障害) 5) 糖尿病の急性合併症			講義
2		5. 検査と看護 血糖日内変動、糖負荷試験、内分泌負荷試験、糖尿病の診断・治療に関連した検査、ホルモン血中・尿中濃度測定、ホルモン負荷試験 ※簡易血糖測定・血糖自己測定(SMBG)			講義
3		6. 治療・処置と看護 1) 食事療法 2) 運動療法 3) 薬物療法(経口糖尿病薬、インスリン補充療法) 4) ホルモン療法			講義
4		7. 病期や機能障害に応じた看護 1) 糖尿病(1型・2型) ① 原因と障害の程度、生命・生活への影響のアセスメント(疾患の特徴、高・低血糖症状、急性・慢性合併症など) ② 症状、障害によって生じた身体症状の緩和に向けた援助 ③ 食事療法・薬物療法・運動療法に関する援助 ④ 合併症予防に対する援助 ⑤ 疾患を受け止め、自己管理を継続していくための援助 ⑥ 自己管理に向けた患者・家族への教育的アプローチ			講義
5		2) 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)腫瘍(甲状腺がん、下垂体腫瘍) ① 症状と生活への影響のアセスメント ② 苦痛・症状緩和への援助 ③ 患者・家族への教育的アプローチ ④ 心理面への援助 ⑤ 甲状腺切除・下垂体の手術を受ける患者への看護 3) 高尿酸血症・脂質異常症・肥満 ① 症状と生活への影響のアセスメント ② 苦痛・症状緩和への援助 ③ 自己管理に向けた患者・家族への教育的アプローチ			講義

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
6	がん 化学 療法 認定 看護師	Ⅱ. 血液・造血器系、免疫系	講義
7		1. 血液・造血器疾患の特徴と看護の役割	講義
8		2. 造血の仕組み	
9		3. 血液疾患の症状と看護(貧血・出血傾向・リンパ節腫大・発熱)	
10		4. 検査と看護(骨髄穿刺・血液検査)	
10	5. 輸血療法		
		6. 白血病の看護	講義
		化学療法	講義
		7. 造血幹細胞移植術を受ける患者の看護	講義
		クリーンルームの管理、放射線療法	講義
		8. GVHD(急性・慢性)	講義
		免疫学的検査、血漿交換療法	講義
		9. 関節リウマチとSLE	講義
		薬物療法	
11	看護師	Ⅲ. 女性生殖器系	講義
12		1. 患者の特徴 1) 女性生殖器疾患患者の理解 2) 発達過程における女性生殖器の発達と疾患 3) 看護の役割 2. 女性生殖器疾患(良性疾患)をもつ人の看護 1) 子宮筋腫 2) 子宮内膜症 3) 良性の卵巣腫瘍(特徴、症状と看護、診断・検査時の看護、治療と看護) 4) 症状と看護(ショック状態の看護、性器出血患者の看護) 5) ホルモン欠落症状と看護 3. 女性生殖器の腫瘍をもつ人の看護 1) 子宮体がん 2) 子宮頸がん 3) 卵巣がん(特徴、症状と看護、診断・検査時の看護、治療と看護)	講義
13	乳が ん看 護 認定 看護師	4. 乳腺腫瘍に関して	講義
14		1) 女性のライフサイクル 2) 乳房の手術を受ける患者の看護 3) がん診断の心理反応 4) ボディイメージのケア 5) 補正下着・パット 6) 手術後の看護 7) リハビリテーション	講義
15		7) リハビリテーション 8) リンパ浮腫 9) 事例検討	
		試験	
使用教材		単元Ⅰ 内分泌系・代謝系: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院 単元Ⅱ 血液・造血系・免疫系: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器 医学書院 単元Ⅲ 女性生殖器系: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑨ 女性生殖器 医学書院	
参考文献		講義中に紹介	
成績評価の方法		筆記試験、課題への取り組み、授業態度を含めて総合的に評価をする。	

科目名		成人看護学援助論Ⅳ(脳・神経、感覚機能障害をもつ人の看護)			
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	2年次	履修時期	9月～12月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	看護師	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	脳・神経、感覚機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 脳・神経系、感覚機能障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその看護が理解できる。 2. 脳・神経系、感覚機能障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
回	授業内容			授業方法	
1	I. 脳・神経系…脳血管系障害:くも膜下出血・脳内出血・脳梗塞 1. 病態・症状のメカニズムと看護 意識障害、運動機能障害、失語症、失認、感覚機能障害、嚥下障害、排泄障害、けいれん、頭蓋内圧亢進症状			講義 講義	
5	2. 検査時の看護			講義	
6	髄液検査、脳血管造影、脳波検査、筋電図検査、神経・反射検査			講義	
7	3. 治療・処置における看護 脳室ドレナージ、薬物療法、手術療法、機能訓練			講義	
8	4. リハビリテーション時の看護			講義	
8	5. 筋委縮性側索硬化症の看護 1) 病態・症状のメカニズムと看護 2) 治療・処置における看護(薬物療法、機能訓練)			講義	
9	II. 平衡感覚器系…メニエール病、真珠腫性中耳炎、喉頭がん 1. 病態の症状のメカニズムと看護 眩暈、難聴、耳鳴			講義	
10	2. 平衡感覚器系の検査と看護 聴力検査、平衡感覚検査			講義	
10	3. 鼓膜形成術、喉頭全摘術を受ける患者の看護				
11	III. 視覚器系…緑内障 1. 主症状と看護 眼痛、視力、失明、視野狭窄、羞明			講義	
12	2. 検査と看護 視力測定、視野測定、眼底検査、眼圧検査			講義	
12	3. 角膜移植を受ける患者の看護				
13	IV. 触覚器系…アトピー性皮膚炎、熱傷 1. アトピー性皮膚炎の薬物(外用)療法と看護			講義	
14	2. 熱傷患者の治療と看護 循環管理、手術療法			講義	
15	試験				
使用教材	単元Ⅰ 脳神経系:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経 医学書院 単元Ⅱ 平衡感覚器:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉 医学書院 単元Ⅲ 視覚器系:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑬ 眼 医学書院 単元Ⅳ 触覚器系:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑫ 皮膚 医学書院				
参考文献	根拠がわかる成人看護技術 メヂカルフレンド社				
成績評価の方法	筆記試験、課題への取り組み、授業態度を含めて総合的に評価をする。				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	成人看護学援助論V(成人の看護過程の展開)				
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	2年次	履修時期	12月～3月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	専任教員	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	働いて家族と共に生活を営む成人期にある対象の事例をもとに、既習の知識を統合させながら、健康レベル・経過に応じた看護の展開を学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護を実践するために必要な学習ポイントに注目し、実際に学習を深めることができる。 2. 各事例の病理的状態や行われている治療、処置、検査とその看護を関連づけて理解できる。 3. 周手術期、慢性期、終末期にある患者の状態に応じた看護過程の展開が事例を通して理解できる。 4. 周手術期、慢性期、終末期患者とその家族に起こりやすい健康問題と家族の特徴が理解できる。 5. クリティカルシンキングの実際を学ぶ。 				
回	授業内容	授業方法			
1	1. 成人看護学援助論Vの概要説明	講義			
	2. 事例紹介と課題提示(1) 1)「直腸切断術を受けた患者の看護事例」	ビデオ視聴			
2	2. 事例紹介と課題提示(2) 2)「糖尿病教育入院患者の看護事例」	講義			
	3)「肺癌のターミナル期にある患者の看護事例」	ビデオ視聴			
3	3. グループワークの説明	講義			
	4. グループワークの取り組み(1) 看護計画の立案	グループワーク			
4	4. グループワークの取り組み(2) 看護計画の立案 発表準備	グループワーク			
5～	5. グループワーク結果発表(1)	発表と質疑応答			
7	5. グループワーク結果発表(2)(3) 全体のまとめと補足説明	教員より説明			
8	試験				
使用教材	授業計画を参照し、必要と思われるテキスト、文献を各自用意してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 2. 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 成人看護学⑤ 消化器 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 3. 系統看護学講座 別巻1 臨床外科看護総論 医学書院 4. 系統看護学講座 専門Ⅰ 臨床看護総論 医学書院 5. 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 6. 系統看護学講座 別巻 がん看護学 7. 臨床看護学叢書2 経過別看護 第2版 メヂカルフレンド社 8. 看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 9. 周手術期看護 安全・安楽な看護の実際 インターメディカ ……他いろいろ <<使用DVD>> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護のためのアセスメント事例集 Vol.4 直腸切断術を受けた患者の看護事例 2. 看護のためのアセスメント事例集 Vol.3 糖尿病教育入院患者の看護事例 3. 看護のためのアセスメント事例集 Vol.12 肺がんのターミナル期にある患者の看護事例 				
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> ①日総研 事例を通してやさしく学ぶ 中範囲理論入門 ②医歯薬出版 健康行動理論の基礎、実践編 ③MCメディカ出版 改訂2版 糖尿病患者のセルフマネジメント教育 エンパワメントと自己効力 ④建帛社 TACSシリーズ 成人看護学—慢性期、急性期、終末期 ⑤日本看護協会出版 ナースによるナースのための がん患者のペインマネジメント ⑥照林社 パーフェクト臨床実習ガイド 成人看護学実習ガイドⅠ(急性期・周手術期)、Ⅱ(慢性期・回復期・終末期) ⑦中央法規 新看護観察のキーポイントシリーズ 急性期・周手術期(Ⅰ・Ⅱ)、がん看護・緩和ケア ⑧ナツメ社 ナースのためのやさしくわかる手術看護 				
成績評価の方法	筆記試験70% 個人の取り組み30%:個人・グループでの提出物の内容、発表時の効果的なプレゼンテーション、態度(個人の取り組み姿勢、発表の参加姿勢) 以上より総合的に判断する。				